



2023.9

ボスエリ日記 うんこのお供 vol.8

cafe&BAR La Mer (ラメール) iPhone 即日修理屋さん 久留米店



店主 田中英里

美容師シマ「俺ね。今エリチンにすごく感謝してるの。」
エ「なんで？」
シ「お客さんとの話題提供。『俺の友達で大谷翔平が170センチ以上ある女性が好みと言った情報だけで無駄にイキキして50歳の女がおる。』と言ったら鉄板でウケる。ありがと。」
エ「なめんな！本気と書いてマジゼ？どんなに知的美女でも170センチなければ権利ないよ。かといって長身スレンダー美女でも結婚したら権利ないよ。18歳以上で、独身の170センチ以上。その条件を満たす女がどれだけおるのかって話やろが！だいぶ狭いで？」
シ「でもエリチンに可能性はゼロだよ？」
エ「なめんな。例え0.000001でもそこに1があることに意義がある。わかるかね？宝くじも可能性ゼロなら誰も買わんのよ。そこに1があるからみんな夢を見て楽しいのだよ。」
シ「でもゼロだよ？」
エ「1だって！」

しょうもないことで延々論争した。

今この世に大谷翔平を嫌いな人はいる？才能はみんな認めるとして、性格まで良さそうじゃん。華やかな町ニューヨークに住みながらキャバクラ1回も行ったことないらしいよ。

あたしのデータでは才能豊かな人はたいいていへんでこりんな人ばかり。でも大谷翔平は違うもの。普通じゃない？真面目で誠実そうじゃない！

そんなスーパースターの好みのふるいにあたしは残っているのよ。嬉しくなって何が悪いのよ。そりゃエンゼルの帽子買うわよ。

イキキするのは自由です。

cafe&BAR La Mer iPhone 即日修理 久留米市 検索
久留米市通町7-1-2階 / TEL.090-7114-8787
営:12:00~翌2:00 / 休:なし

そめや歯科
朝8:30から診療
訪問診療も受付
通町4-11 ☎46-2218

とせん 徒然なか日記 vol.24 「携帯電話の行方」



なるとし

野中成利税理士事務所 野中 成利

企業のかかりつけ税理士を目指して、独立後、はや15年弱。近年、中小企業診断士に。久留米高専の後、九州大学へ。下戸の酒好き。猫好き。珈琲甘いもの好き。セミナー講師もやってます。

ただ水の音が聞こえ、クラムボンがカブカブ笑ってる。ここは墓場だ。何の墓場かと申しますと、電話の墓場なのだ。これほど、電話がある場所も珍しいと思われる。

もう随分前のことになるけれど、酔っぱらって友達の財布を池町川で落としたことがあった。酒を飲んでわっははと叫びながら、友達を振り回したら、友達が身に付けていた鞆のジッパーが開いていて、そこから飛び出したのはお財布君。いやー漫画みたいに「パッシャー」って音を立てて川の中にホールインワンでした。

童話ならば、川の主がザッパーンと現れて、「お前が落としたのは、この金の財布か、それとも銀の財布か？」と問われ。正直に答えると、金の財布がもらえるジャンピングチャンスが始まることであるが、当然そのようなイベントが始まることもなく。冷や汗を垂らして「ごめん」という私がいだけである。友達は、笑いながら「気にしないでいいよ」人の出来が違う。私の人としての器は、ぐい呑みのお猪口サイズくらいしかないの、もし逆ならばどうしただろう。さすがに、それを真に受けて気にしないという図太さは持ち合わせておらず、飲んでた酒のアルコール成分も、私の体内から急速に失われてしまった。山田錦の絞り汁がこんな事を生んでしまうととは後悔の念しかなかった。

橋の上から財布がダイブした川を見るが明るいネオンの輝きが水面に反射してまったく中が見えない。私は、長距離ランナーのサンガラスのような水面を見て途方に暮れたのだった。

翌日の朝一人で財布捜索にむかった。川の水深は30センチほどだし、川幅も車一台分くらい。なんとかなるだろうとドジョウすくいのおじさんのような恰好で捜索開始。しばらくすると、うん？なんだこれはと気づいた事が、なんと川底には30センチ四方に1個くらいの割合で携帯電話が落ちていたのである。考えるに飲み屋さんで酒をこたま飲んで、気分が悪くなり吐きたくなる。外に出て丁度そこにあるのは川、トイレと違いレバーを流さなくても新しい水が流れてくるのである。道端で吐くと糞臭いものである。人間としての最後の尊厳を保つために、橋の上から吐く。すると、胸ポケットに入れていた携帯電話が入水自殺を図る。まあその姿は、人間というよりマーライオンなのだから尊厳が保たれているかはわからない。すると、胸ポケットに入れていた携帯電話が入水自殺を図る。まあその姿は、人間というよりマーライオンなのだから尊厳が保たれているかはわからないが、そのようなことが毎夜毎夜繰り返されているのである。ここは携帯電話の玉川上水であったのか。

30分後ついに財布を見つけた。お金は入っていないよって言ったその財布には一万円札がきちんと入っていた。一万円を落としても笑顔で大丈夫そう言える大人になろうとその時誓ったのだが、いまだ、私はそうっていない。

野中成利税理士事務所 久留米市御井旗崎1-10-22-1F TEL.0942-48-0660
SECONDでコラム読んでくださった方30分間 税務相談無料です。 ※その旨お問い合わせの際にお知らせください

家具屋の思い出話 (23) 「ななつ星を見つめていた少年」 Cozy Flat オーナー 仲洋史



Cozy Flat 筑後市四ヶ所菅原田460-1 TEL.0942-52-3480 営:10:00~18:30 休:水曜、第2・4水曜

ななつ星。正式名称は「ななつ星in九州」JR九州が運行する周遊型臨時寝台列車=クルーズトレインの事をいう。鹿児島本線の線路沿いに住む私の家から時々見える。めったに通らないが、通るときは流石DF200-7000のディーゼル機関車で引張る7両編成の姿は威厳を感じさせる。夏になりお客様のお宅に伺って帰社する際、喉がカラカラになったので我家に立ち寄った。着替えのシャツもついでにバッグに放り込んで家を出た時、重厚なゴットンゴットンと言う音が聞こえてきた。ななつ星のディーゼル機関車の声か？そう思いながら会社に急ごうと車を走り出させた時、線路沿いの小さな橋の上で少年が斜めに自転車をとめて立ち止まっていた。手に何かをかざして線路の方を見ている。重厚な音の主が姿を現した。やっぱりななつ星だった。よく見ると自転車の彼はスマホを左手に持ち動画を撮っている。私はゆっくり後ろに車を止めた。

オイオイといってくれないか！何でまたこんな所でしかも橋の真中で、人の邪魔をするかな…。彼は左手でスマホを持ち右手を大きく左右に振っている。追い越せやしないだろうよと思った矢先彼は振り向いて僕に軽くごめんなさいの会釈をした。僕は右手を軽く上げ、いいよ待つよと合図を送った。彼は目が合ったのだろうか機関士に頭を下げた。頭を起こしてからもずっと列車に向かって大きくゆっくり手を振り続けていた。最後の車両が通り過ぎた瞬間、踵を返し今度はありがとのか会釈をして列車を追いかけた。喜び一杯の笑顔で。バックミラーに写る彼は急いでいるはずなのに背中がなかなか消えなかった。青い空、白い雲、背中を丸めて自転車を立ち漕ぎする少年の姿がまるでアニメのようだった。ゆっくり車を進めながら何故だかジーンと来て鳥肌が立った。あんなに素直に一途に喜べるのか？一途に打ち込めるもの、喜べるもの

を持っている凄さを見せつけられた。彼の眼は一点の曇りもなく澄んでいた。確かに僕に迷惑をかけたが、心からごめんなさいとありがとを伝え、ずっと手を振れる恥じらいのない勇氣を見せてくれた。彼と同じ年ごろ、私は堂々と他人と渡り合えることなど出来なかったと思う。純粋な心には光るものがあり、人を魅了する力があるんだなと思った。えらいぞ！ガンバレ！と車内で独り言を放ち、思わず自分にも言い聞かせた。人生生きてる中で今日が一番若いんだ。きっと俺にも心から打込めるものがあるはずだ。俺も見つけようと。立ち漕ぎしながらふいに振り向いて、今からでも遅くないよと彼の口が動いた気がした。

神主四方山話 vol.7



久留米宗社 日吉神社 榊 久富 貴文

浄明正直という言葉があります。以前お話しした神主の資格の名称にもなっている言葉です。浄(きよく)明(あかる)正(ただ)直(なお)く、神事をおこなう際に神主のあるべき姿だといわれています。この第一にあげられている「きよく」を神道では特に重要視しています。この「きよく」は二つに分けて考えることができます。一つは外側の清浄、簡単にいうと体の清浄です。お風呂に入って身体を洗う・衣服を綺麗にする或いは新調する。他者と衣食住を別にする・飲食は他者と同じ火は使用せず鳥獣或いは鳥魚獣も口にしないなど制限をもうける。体や身に付ける衣服を清潔にすることはもとより、体に取り入れる食事まで気を付けなければなりません。こういったことの一部は3世紀頃の日本の風習が書かれた魏志倭人伝にもみられるようです。他者より隔離すること・飲食を制限することなどがみられます。いま一つは内側の清浄、これは心に関する清浄のことです。思念・言語を正しくする・姿勢は心の顕現によるものとし動作も正しくおこなう。内側の清浄は心を整えるといったほうが理解していただきやすいかと思います。よもやま。中学生の頃の私は高校に進学せず山に籠って修行したいと思うようになりました。このことを父である宮司に伝えると「たしかに山での修業は効果的だと思う。しかし街中において色々なことを心を悩ませながら心を整えていくことのほうが、さらに修行になるんじゃないか」といわれました。風変わりな中学生の私でしたが、父の言葉はとても納得がいく回答でした。日常生活において、お風呂に入る・シャワーをあびて洗濯した綺麗な服を着る、口には明るい言葉を選んで使う、これだけでも「きよく」あることになると思います。

では皆様日々お健やかにすごして下さいませ。

久留米宗社 日吉神社 社務所 久留米市日吉町106 / TEL.0942-32-3770 営:9:00~17:00



KURO's Time vol.1



BLACK WAVE 店主 黒岩 公輔

1983年久留米市生まれ。日本の国技「相撲」に競技者・指導者・研究者として関わる。東京都立高校の政治・経済の教諭として10年間教壇に立ち、アームレスリング(腕相撲)部の顧問として全国大会の団体・個人戦で優勝に導く。2022年5月、久留米・文化街にミュージックカフェ「BLACK WAVE」を開店。明大中野相撲部主将、慶應義塾大学体育会相撲部主将、宅地建物取引士。

皆さん、初めまして！久留米・文化街にあるミュージックカフェ「BLACK WAVE」店主の黒岩です。私は久留米に生まれ、34年間を東京で過ごして一昨年久留米に戻ってきました。

これまで柔道、相撲、アームレスリング、ラグビー、卓球と幅広くスポーツに親しまいました。そんな私が「音を楽しむ空間」であるミュージックカフェのマスターになるには様々なきっかけや素晴らしい出会いがありました。

このKURO's Timeでは「音楽」を中心に、皆さんが楽しめる内容を届けていきたいと思っておりますので応援よろしくお願いたします。

今月の1枚 Basso-Valdambri Sextet 『Exciting 6』 GTA Records (1967年) あらゆる方に聴いていただきたいミュージックカフェ「BLACK WAVE」を象徴する1枚。



BLACK WAVE (ブラックウェーブ) 久留米市日吉町14-22-3階 TEL.090-6003-1685 (黒岩) info@blackwave.jp

